

- 問1 平安時代初期に坂上田村麻呂が征夷大將軍に任命され、東北地方へ派遣された歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 律令国家の支配領域を北へ拡大するため、東北地方の蝦夷を服従させようとした。 | 2. 武士の台頭により弱体化した朝廷の権威を回復するため、源頼朝を征夷大將軍に任命して地方を統治させた。 | 3. 関東で自立した政権を樹立しようとした平将門の勢力を鎮圧するため、大規模な軍を派遣した。 | 4. 平泉を拠点に独自の文化を築いていた奥州藤原氏に対し、年貢の納入を求めて軍事的な圧力をかけた。 |
|--|--|--|---|
- 問2 11世紀末から約200年にわたって行われた、キリスト教の聖地エルサレムをイスラム勢力から奪還することを目的とした軍隊の派遣について、この遠征のきっかけとなる呼びかけを行った人物として正しいものを選びなさい。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|------------|-----------|----------|
| 1. フランス王 | 2. 神聖ローマ皇帝 | 3. ビザンツ皇帝 | 4. ローマ教皇 |
|----------|------------|-----------|----------|
- 問3 承久の乱が、その後の鎌倉幕府の支配体制に与えた歴史的な影響として最も適切な説明はどれですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|--|
| 1. 御家人たちが土地を失い、鎌倉幕府が急速に衰退する直接の原因となった。 | 2. 朝廷の権威が高まり、幕府は政治の主導権を京都に返上することになった。 | 3. 執権の政治が終わり、将軍が直接政治を行う仕組みへと戻った。 | 4. 幕府の支配力が西国まで及び、朝廷に対して幕府が優位に立つようになった。 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|--|
- 問4 1221年に起こった戦乱において、後鳥羽上皇が率いる朝廷軍を破った鎌倉幕府が、その後の戦後処理として、朝廷の監視や西国の武士の統制を目的に京都に設置した役職は何ですか。 (2016年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|--------|-------|
| 1. 六波羅探題 | 2. 京都守護 | 3. 問注所 | 4. 執権 |
|----------|---------|--------|-------|
- 問5 13世紀の鎌倉幕府において、3代執権の北条泰時が「御成敗式目（貞永式目）」を制定した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 足利尊氏による新しい幕府の開設に備え、幕府の権威を全国の守護や地頭に改めて示す必要があった。 | 2. 朝廷が定めた律令制度を強化し、公家と武士が共同で政治を行うための共通のルールを確立することが求められた。 | 3. 承久の乱の後、幕府の支配が西日本まで及び、御家人らの土地をめぐる紛争が増加したため、公平な裁判の基準を設ける必要があった。 | 4. 文永の役で元軍が襲来した際、恩賞を求めて不満を持つ御家人をなだめるため、徳政令の一環として制定された。 |
|---|---|--|--|
- 問6 鎌倉時代に成立した新仏教の一つである時宗（じしゅう）の開祖について、全国を巡り、「南無阿弥陀仏」の念仏を唱えれば誰でも救われると説き、踊りながら念仏を唱える独自の手法で武士や農民、商工業者にまで教えを広めた人物は誰ですか。 (2019年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 日蓮 | 2. 一遍 | 3. 親鸞 | 4. 栄西 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 鎌倉時代に栄西が中国（宋）から伝え、座禅を組んで師からの問いに答えながら修行する、幕府や武士に重んじられた宗派を何といいますか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 浄土宗 | 2. 臨済宗 | 3. 曹洞宗 | 4. 真言宗 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 平家物語に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 南北朝時代の動乱を描き、後の武士に読み継がれた軍記物語である。 | 2. 平安時代に清少納言によって書かれた、四季の趣などを記した随筆である。 | 3. 平安時代に紫式部によって書かれた、貴族の生活を描いた物語である。 | 4. 鎌倉時代に成立し、琵琶法師によって語り継がれた軍記物語である。 |
|------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問9 鎌倉時代に成立した、平氏一門の繁栄から滅亡までの過程を描いた軍記物語の代表作は何ですか。また、その作品が広く一般に普及した理由として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|---|
| 1. 新古今和歌集：朝廷が全国の国司に対して、書き写して配布するように命じたため。 | 2. 方丈記：鴨長明が各地の寺院を巡り、仏教の教えとともに朗読して回ったため。 | 3. 古事記：武士が戦場での士気を高めるために、陣中で一斉に音読したため | 4. 平家物語：琵琶法師と呼ばれる人々が、琵琶の音色に合わせて語り歩いたため。 |
|---|---|--------------------------------------|---|
- 問10 鎌倉時代において、地頭が荘園領主（公家や寺社）に対して実質的な支配権を強めていくことができた背景として、地頭に認められていた権利や制度の説明として正しいものはどれですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 地頭は定期的に土地の所有者を入れ替える「班田收授法」を運用する責任者であったため。 | 2. 地頭には、農民から直接税を徴収するのではなく、中国から輸入した銅銭での納税を義務付ける権限があったため。 | 3. 地頭は朝廷から直接任命される役職であり、幕府の支配を受けずに独自の裁判権を持っていたため。 | 4. 土地の管理や警察権の行使に加え、軍費として兵糧米を徴収する権利が与えられていたため。 |
|--|---|--|---|
- 問11 鎌倉時代の武士の家において、それまで行われていた「分割相続」には、ある重大な社会的な弊害がありました。その内容として正しいものはどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 長男のみがすべての領地を継ぐようになったため、次男以下の不満が高まり反乱が頻発した。 | 2. 世代交代を繰り返すたびに一族の領地が細分化され、生活が困窮する武士が増えた。 | 3. 土地を分割する際に面積ではなく収穫量で分けたため、気候変動による飢饉の影響を強く受けようになった。 | 4. 幕府が土地の売買を全面的に許可したため、有力な商人にすべての領地が買い占められた。 |
|---|---|--|--|
- 問12 東大寺南大門にある金剛力士像は、運慶や快慶らによって制作された。それまでの時代の優美で繊細な表現とは対照的に、この像のように力強く写実的な作風が生まれた背景として、最も適切な説明はどれか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 浄土信仰の普及により、極楽浄土の優雅な様子を視覚化する必要があったため | 2. 貴族を中心とした国風文化が円熟し、より複雑な感情表現が求められたため。 | 3. 唐の文化の影響を強く受け、理想化された静かな美しさが追求されたため。 | 4. 政治の実権を握った武士の、質実剛健で力強い気風が反映されたため。 |
|--|--|---------------------------------------|-------------------------------------|
- 問13 13世紀後半、モンゴル帝国（元）による二度の来襲（元寇）という危機に対し、鎌倉幕府が行った防衛対策として最も適切なものはどれですか。なお、この対策は九州北部の博多湾付近において、海岸線沿いに石を積み上げた長大な設備を築いたものです。 (2018年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 足利尊氏が、大陸からの脅威に対抗するために九州の御家人を動員して防人を配置した。 | 2. 三代執権の北条泰時が、元軍の侵略を退けるために武士の裁判基準となる御成敗式目を制定した。 | 3. 北条時宗が、元軍の武器である「てつほう」を模倣し、石の防壁から一斉射撃を行う訓練をさせた。 | 4. 八代執権の北条時宗が、元軍の再来襲に備えて博多湾沿いに石の防壁を築いた。 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 律令国家の支配領域を北へ拡大するため、東北地方の蝦夷を服従させようとした。	平安時代初期の律令国家は、中央政府の支配が及んでいなかった東北地方の蝦夷と呼ばれた人々を服従させ、国の支配領域を広げる政策を推進していました。桓武天皇によって征夷大將軍に任じられた坂上田村麻呂は、胆沢城を築くなどして東北地方における律令支配の拠点を確立しました。平将門や源頼朝の活動は、その後の武士の台頭期における出来事であり、時代背景が異なります。
問2	答え 4 ローマ教皇	聖地エルサレムがイスラム教勢力のセルジューク朝に占領されたことを受け、1095年のクレルモン公会議においてローマ教皇がキリスト教諸国の騎士や貴族に遠征を呼びかけました。この軍隊は「十字軍」と呼ばれ、西ヨーロッパの社会構造やその後の歴史に多大な影響を与えることとなりました。
問3	答え 4 幕府の支配力が西国まで及び、朝廷に対して幕府が優位に立つようになった。	この戦いを通じて、幕府は上皇側に加担した貴族や武士の領地を没収し、そこに多くの地頭を任命しました。これにより、それまで朝廷の力が強かった西国へも幕府の支配が浸透し、政治の実権が完全に朝廷から幕府へと移る歴史的な転換点となりました。
問4	答え 1 六波羅探題	承久の乱に勝利した幕府は、敗れた後鳥羽上皇を隠岐へ流すと同時に、これまで幕府の影響力が弱かった朝廷や西国を監視する必要性に迫られました。そこで、京都の六波羅に拠点を置く「六波羅探題」という役職を新設し、朝廷に対する支配力を強めました。
問5	答え 3 承久の乱の後、幕府の支配が西日本まで及び、御家人らの土地をめぐる紛争が増加したため、公平な裁判の基準を設ける必要があった。	1221年の承久の乱に勝利したことで、鎌倉幕府の支配力は西日本まで拡大しました。これにより地頭と御家人の間などで領地をめぐる争いが急増したため、1232年に北条泰時は、武社会の慣習に基づいた公平な裁判を行うための指針として御成敗式目を定めました。文永の役（元寇）は1274年の出来事であり、時代が異なります。
問6	答え 2 一遍	鎌倉時代には民衆の不安に応える新しい仏教が次々と誕生しました。一遍は時宗の開祖であり、特定の修行や難しい学問を必要とせず、ただ念仏を唱えることで救われると説きました。この教えを広めるために全国を行脚し、「踊念仏」という親しみやすい形式を取り入れたことで、身分を問わず幅広い層に受け入れられました。
問7	答え 2 臨濟宗	宋西によって伝えられたこの宗派は、禅宗の一つであり、座禅を組み合わせながら「公案」と呼ばれる師からの問題を解くことで悟りを目指します。自律的な修行を重視する姿勢が、当時の武士の精神に合致したため、鎌倉幕府に厚く保護されました。
問8	答え 4 鎌倉時代に成立し、琵琶法師によって語り継がれた軍記物語である。	平家物語は鎌倉時代に成立し、平氏一門の滅亡を通して無常観を描いた作品である。琵琶法師が琵琶に合わせて語る「平曲」として民衆に普及した点が大きな特徴である。他の選択肢はそれぞれ源氏物語、太平記、枕草子の説明であり、時代や内容が平家物語とは異なる。
問9	答え 4 平家物語：琵琶法師と呼ばれる人々が、琵琶の音色に合わせて語り歩いたため。	鎌倉時代には、武士の活躍や合戦の様子を描いた「軍記物語」という新しい形式の文学が登場しました。その代表格である『平家物語』は、盲目の僧侶である琵琶法師が各地で語り聞かせたことにより、文字が読めない人々も含めて幅広く浸透しました。この作品には、万物は常に変化し続けるという「無常観」という仏教的思想が強く反映されているのも特徴です。
問10	答え 4 土地の管理や警察権の行使に加え、軍費として兵糧米を徴収する権利が与えられていたため。	地頭は幕府の軍事力を背景に、現地で土地管理や年貢徴収を担うだけでなく、軍費としての「兵糧米」を徴収する権利（加徴米）を持つなど、経済的・軍事的な基盤が保証されていました。この強い権限を背景に、本来の領主である荘園領主に年貢を納めないなど、現地で支配を強めていくこととなりました。他の選択肢は、朝廷の官吏、貨幣経済の普及、律令制の説明であり、鎌倉時代の地頭の性質とは異なります。
問11	答え 2 世代交代を繰り返すたびに一族の領地が細分化され、生活が困窮する武士が増えた。	鎌倉時代に一般的だった分割相続は、子孫が増えるたびに土地が細かく分けられる仕組みであったため、数世代経つと一人の御家人が得られる収入は極めてわずかなものになってしまいました。この状態を「領地の細分化」と呼びます。武士は自力で軍装備を整えなければならなかったため、この経済的な困窮は御家人制度の根幹を揺るがす深刻な問題となりました。のちにこの弊害を避けるため、一人の子がすべてを継ぐ単独相続へと変化していくことになります。
問12	答え 4 政治の実権を握った武士の、質実剛健で力強い風気が反映されたため。	鎌倉時代の文化は、新しく歴史の表舞台に現れた武士の好みが強くと反映されています。平安時代の貴族が好んだ優雅さや繊細さとは異なり、現実的でたくましい力強さを尊ぶ「武士の気風」が、運慶らの手がけた写実的な彫刻作品の流行につながりました。
問13	答え 4 八代執権の北条時宗が、元軍の再来襲に備えて博多湾沿いに石の防壁を築いた。	13世紀、鎌倉幕府の八代執権であった北条時宗は、一度目の元軍による来襲（文永の役）の後、再び攻め込んでくることを予測して九州北部の博多湾沿いに約20kmにわたる「石の防壁」を建設させました。この防壁は、二度目の来襲（弘安の役）において元軍の上陸を困難にさせ、日本側の防衛成功に大きな役割を果たしました。選択肢にある北条泰時は三代執権であり、足利尊氏は室町幕府の創設者であるため、この時期の対応者としては不適切です。